

業務縮小による貸館業務予約の一部休止（5月6日まで）

緊急事態宣言期間中

⇒現在は、施設休館であるが、5月7日以降 予約可能な状態

予約を一部休止にすると

休館中であるが、  
予約者は膨れ  
上がっている状況

予約システム（7月中の施設  
利用分の予約ができなくなる）

電話による直接受付  
（予約システム同様とする）

効果

職員の業務縮小  
キャンセル連絡の時間縮減

通信費の削減  
予算流用 回避

一例 公民館

4月1日から15日 休館延長のためのキャンセル連絡 **725件**

連絡するのに連続4日間従事 ※在宅勤務は不可能

ほか問い合わせ **130件**

※令和元年度予算 役務費不足による**予算流用**

※令和2年度予算 当初から予算不足が生じる可能性あり